

## 兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2019年

氏名	佐藤 弥恵	担当科目	国際経済法
学位			
2004年9月 2007年12月	国際経済法 DEA (DEA en Droit international économique) パリ第1大学パンテオン・ソルボンヌ 法学博士 (Doctorat en Droit) パリ第1大学パンテオン・ソルボンヌ		
主な学歴			
年月	事項		
2004年9月 2007年12月 2008年4月	パリ第1大学パンテオン・ソルボンヌ法学研究科 高等研究(DEA)課程国際経済法専攻 修了 パリ第1大学パンテオン・ソルボンヌ法学研究科 博士課程国際法 EU法専攻 修了 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 研究生(～2009年3月)		
主な歴歴			
年月	事項		
2009年4月 2009年8月 2010年10月 2013年4月 2016年4月 2017年4月 2018年1月	日本学術振興会特別研究員(PD)、東京大学大学院総合文化研究科(～2012年3月) パリ比較法研究所 客員研究員(～2009年9月) ケンブリッジ大学ローター・パクト研究所 客員研究員(～2011年3月) 東京女子大学 研究員(～2016年3月) EUSIスタディーズインスティチュート(EUSI)(一橋大学) 研究員(～2017年3月) マックス・プランク国際・欧洲規制手続法研究所 アソシエイトフェロー(～2017年12月) マックス・プランク国際・欧洲規制手続法研究所 リサーチフェロー		
最近5年間の主な業績等			
年月	事項		
2014年6月 2015年7月 2016年11月 2016年8月	<p>【学会・社会活動】 国際法学会会員/日仏法学会会員/アンリ・カピタンフランス法文化協会会員</p> <p>【学会発表】 "Legal status of private actors in the dispute settlement system of international economic organizations from the perspective of EU/France"( Law and Society Association of the USA, 50th anniversary conference at Minneapolis, USA)</p> <p>【学術論文】 「一般国際法から見る WTO 法上の義務の性質」『一橋法学』14巻2号(399～430頁)</p> <p>【その他】 (書評) Andrea Hamann, Le contentieux de la mise en conformité dans le règlement des différends de l'O.M.C., BRILL/NIJHOFF, 2014, 840p. 『日本国際経済法学会年報』第25号(211～214頁) (巻頭エッセイ)「フランス語の復権?—英国 EU 離脱のもう一つの影響」EU スタディーズインスティチュート(EUSI) EUSI メールマガジン Vol.97</p>		